

自己評価等結果報告書

令和8年 3 月 25 日

宮崎県知事 殿

届出者 所在地 宮崎県延岡市大武町4615番地2
事業者名 放課後等デイサービスあのね
代表者名 高島 剛

1. 事業所の状況

事業所の名称	社会福祉法人 愛育福祉会 放課後等デイサービスあのね		
事業所の所在地	〒882-0024 宮崎県延岡市大武町4615番地2		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援		
事業所番号	4550300356		
連絡先	TEL	0982-20-2715	E-mail anone@eagle.ocn.ne.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和8年 3 月 11 日	～	令和8年 3 月 21 日
② 職員による評価	令和8年 3 月 11 日	～	令和8年 3 月 21 日
③ 事業所全体による評価	令和8年 3 月 11 日	～	令和8年 3 月 21 日
④ 訪問先施設による評価 ※保育所等訪問支援のみ	年 月 日	～	年 月 日

3. 公表方法

公表日	令和8年 3 月 31 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: https://www.aiiku-nobeoka.jp)
	<input type="checkbox"/> 情報公表システム
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用) <input type="checkbox"/> 訪問先施設による評価の集計結果 (公表用) ※保育所等訪問支援のみ

担当者名	銀島麻衣里
連絡先	0982-20-2715

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあのね			
○保護者評価実施期間	令和8年3月11日		～	令和8年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和8年3月11日		～	令和8年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・異世代交流、地域との交流が充実している。	・法人事業所間での交流会を実施してきたが子どもたちの持味を披露する場所が身近にある環境の中で更に活動の幅を広げることができている。(別事業所との交流会の展開など)	・今後も定期的な交流会を計画、実施していく。継続的に交流を図っていく。 ・地域貢献の取り組みを職員間で考え、活動などに取り入れていく。
2	・活動、行事に合わせた環境作り。 ・様々な活動内容の展開。	・活動、行事の目的に合わせて、多彩な空間の中で活動の提供を行っている。 ・創作活動、自然との触れ合い、アートや音楽活動など各関係機関と連絡を取りながら充実した活動内容を提供することができている。	・左記にもあるように創作活動、自然との触れ合い、アートや音楽活動、季節の行事に関心を持つ活動を通して子どもたちの自己肯定感を高め、心の安定や自己表現を促進していきたい。
3	・児童、保護者に寄り添った対応を心掛けている。	・子どもたちが自己選択、自己決定できるような対応を意識して、日々接している。(活動の選択、買い物支援など) ・送迎時やお迎えの時の保護者とのやりとりなどにおいて保護者からの話に傾聴する姿勢を心掛けている。	・写真、絵カードなどを使用し、子どもたちが自己選択、自己決定できるための支援を継続して行っていく。 ・相談員、学校などと連携を図り、保護者の悩み事などに寄り添いながら対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・自発的な研修への参加。	・積極的に研修、講演会などに参加する職員が少ない。	・自発的な研修への参加に向けて他事業所への見学を取り入れる。意見交換を通して視野を広げることができると思われる。 ・自立支援協議会や他部会などへの積極的な参加。(限られた職員だけではなく)
2	・計画に沿った支援の振り返り。	・会議などで共有しているが、支援の場面では対応が異なっていることもある。	・共有した後、継続的に日常の支援に活かされるよう振り返りの時間を持つ。
3	・ペアレントトレーニングなどの研修の機会の確保。	・朝礼やミーティング、相談員との情報共有などを通して家庭の状況などは共有できているがそこで終わっていることも多い。	・ペアレントトレーニングの研修を調べ、参加。職員間で共有し、実践できるよう学びを深めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあのね

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 11名

回収数 10世帯 (保護者入院中のため)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1	10					
	2	10					
	3	10					
	4	10					
適切な 支援の 提供	5	10					
	6	10					
	7	9	1				
	8	9	1				
	9	10					
	10	10					
	11	6	2		2		
	12	10					
	13	9	1				
	14	8	1		1		
	15	10					
保護者 への 説明等	16	10					
	17	10					
	18	7	3				
	19	9			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスあのね					公表日 令和8年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3		・児童も成長し、手狭に感じる。活動、行事の内容によってはもう少し広いといいなと思うことがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・職員の配置数は良いと思うが利用児童が少ない日が増えているため、児童を増やしてパートの職員を入れるのはどうか。(午後からなど)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・壁面掲示が難しい(窓仕切り)が、その分、開放的で明るい空間になっている。	・日々、整理整頓をしっかりとる。遊具整理を考える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・メインの機能訓練室、サブの地域交流室、さらに静養室と目的に合わせて多彩な空間にしている。	・活動によっても狭く感じることもある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・メインの機能訓練室、サブの地域交流室、さらに静養室と目的に合わせて多彩な空間にしている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・午前中の時間を使って他職員との意見交換ができていていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1		・支援計画5項目に沿って分析することが望ましい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		・時々、児童の利益よりも保護者の利益が考慮されていると感じることがある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		・共有した後、継続的に日常の支援に活かされる(振り返りが多いと)良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・支援終了後すぐにはできてないが次の日の朝礼などで話し合うようにはしている。 ・必要な時には行っている。	・利用児の迎え時間が遅いご家庭もあり、当日中の振り返りは困難。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			・行っているが「4活動」が頭に入っているかという意識はしていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自分磨き（活動）ではなるべく児童の意見を聞くようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		・支援センターとの接点そのものがない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・戸外活動で児童同士の交流はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者に寄り添う気持ちを持って日々、対応している。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	・活動や行事などで交流がある。 ・兄弟同士の交流会の計画はある。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		・SNSを利用してもいいと思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・イルミネーション点灯式を実施。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		・ヒヤリハットを提出する基準が分からず、自分がヒヤリだと思ってもヒヤリとした本人が意識していないことがある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・対象児童がいない。	